

# 防災・避難対策マニュアル2017〔概要版〕

## 趣 旨

平成23年3月11日の東日本大震災を契機に、南海トラフ巨大地震による津波発生を想定した「防災・避難対策マニュアル」を同年9月に発刊した。

近年多発する自然災害に備え、児童生徒の発達段階に応じた体系的な防災教育、学校の立地環境等地域の実情に応じた防災教育の推進が求められる中、地震・津波以外に水害・土砂災害など様々な自然災害に関しての対策を、児童生徒の生活場면을想定して具体的に記述し、全面的に改訂した。

本マニュアルは、一般的な行動手順を紹介したもので、学校ごとに地域の危険箇所や過去の災害等を考慮し、具体的手順を示した危機管理マニュアルにするための参考としてもらいたい。

平成29年 5月「学校における防災教育の手引き」―各教科で防災教育を展開するための参考資料

平成29年12月「防災・避難対策マニュアル2017」―学校安全計画・危機管理マニュアル作成の参考資料

## 概 要

### 第1章 基本的な考え方

#### 1 学校安全と防災対策の基本的な考え方

学校安全が取り扱う3領域 「生活安全」「交通安全」「災害安全」

学校安全の主要な取組 「安全教育」「安全管理」「組織活動」 を説明

#### 2 学校安全計画と危機管理マニュアルの法的根拠と作成のポイント

○学校安全計画（学校保健安全法第27条） ≪第2章で説明≫

年間の学校安全の取組（安全教育、安全管理、組織活動）を月別に記載

○危機管理マニュアル（学校保健安全法第29条） ≪第3章・第4章で説明≫

学校において、事件や事故等が発生した場合に教職員が取るべき措置の具体的内容及び手順を定めたもので、その作成ポイントを説明

#### 3 災害リスクの想定

○自治体のハザードマップ等で学校に起こりうる災害を想定し備えることが重要

○事前準備から避難後まで時系列での対応、在校時や登下校中など場面ごとの対応

○本県で想定される主な自然災害について

### 第2章 日常の防災対策（学校の組織的な減災の取組）

#### 1 学校の防災体制の整備

○PTA等の外部人材を入れた運営組織（委員会）を核とした防災対策

○防災教育を中核となって推進する教職員の分掌での位置づけ

#### 2 安全管理による減災

○定期的な安全点検の実施と点検結果を踏まえた学校の環境整備

#### 3 組織活動による減災

○教職員研修の実施

○保護者・地域との連携

#### 4 災害発生時や校内待機時に役立つ物品

○場面ごとの学校が備蓄しておくべき物品

○備蓄物品の調達方法や保管場所

### 第3章 災害発生時の避難方法

○災害別の特徴や事前対応、場面別の避難方法

（水害、土砂災害、地震・津波、火山、落雷・突風）

### 第4章 避難後の対応（安否確認や学校待機と引渡、避難所対応など）

#### 1 安否確認と情報伝達

#### 2 災害対策本部の設置

#### 3 児童生徒の保護者への引渡と学校待機

#### 4 要配慮者への支援

#### 5 避難所運営への協力

#### 6 心のケア

### 資料 弾道ミサイル発射時の対応

○国（内閣官房、文部科学省）や県の資料等を参考に対応